



VIAGGIO IN ITALY



大森愛子のイタリア紀行

AIKO OMORI PRESENTI

ソムリエ。ワインスクール講師。

世界15カ国以上を旅したのち、何だか面白そうなイタリアに移住。
現在、定職・定住地なし。強運のみを頼りに移動生活を続ける。
旅の最大の目的は、それぞれの国の人が何を大切にしているのか
を知ること。

2015 **15** 5.11

EXPO Milano 2015

ついに始まりました!ミラノ国際博覧会。

5月1日よりイタリア ミラノ郊外で開幕した今年の万博は、“地球に食料を、生命にエネルギーを”をテーマに掲げ、史上初めて「食」をテーマに扱った万博として注目されています。

会場はミラノ中央駅から地下鉄で約35分、北西部に広がるエリアに建設されており、敷地面積は110ヘクタールと広大。

会期中は多くの鉄道が会場と直結するミラノ万博駅に停車するため、イタリア国内外の主要な都市から鉄道でのアクセスが便利。空港からはバスまたはタクシーで約30分の距離です。



ミラノの街もエキスポ色に。
前回ミラノで万博が開催されたのは100年以上前、
1906年のこと。



会場内の大通りは古代ローマを
イメージして造られたそう

入場料は32€。入場ゲートでは荷物検査がありますので、危険物に該当するものは預けてから入場しましょう。会場内の各パビリオンでは140ヶ国以上の参加国が自国の食料事情や生産性を表現し、実際に伝統料理、特産品を味わってもらえる場を設けています。



会場と直結する Rho Fiera EXPO
Milano 2015 駅



展示館の建築も各国それぞれ、
壮観です。

イタリア館

会場内では趣向を凝らした様々な展示物を堪能するもよし、売店や展示館内のレストランで各国の名物料理を味わうもよし…

イタリアワインに興味がある方にお勧めしたいのは、イタリア館の“VINO - A TASTE OF ITALY”と名付けられたパビリオン。イタリアワインの歴史や文化を題材とした展示物には一見の価値あり。また試飲スペースでは1,000本以上のイタリアワインがオートサーバー内に並んでおり、3回分のテイasting+グラスの手ケットが10€。これだけの選択肢の中から自由に飲み比べることができる機会は貴重です。何を選ぶか迷ってしまったら館内のソムリエに相談を。お勧めの一本を教えてくれるはずですよ。



イタリアワイン試飲スペース



イタリア人スタッフの中には流暢な
日本語を話す方も！

ワインと一緒にイタリア料理も楽しみたくなったら、イタリア食材を扱う大型食品店 Eataly によるフードコートがおすすめ。毎月入れ替わりでイタリア各州のレストランが入るパビリオン内で、各地方の郷土料理を試すことができます。



サーバー内の1,000本以上のワインを自由に言式することが出来ます



イタリア各地の郷土料理を楽しめるフードコート

日本館

もちろん日本も「日本館」を出展しており、敷地面積は4,170㎡と参加国の中でも最大級。実際に日本館は人気があるようで、入口前には大行列、“30分待ち”の看板が。世界中で和食ブームの最中、日本の食文化に対する関心の高さがうかがえます。



日本館は立体木格子による木材建築



参加国の中で待ち時間を表示しているのは日本館だけ...

展示内容はスクリーンによる映像体験、日本の食生活の紹介、ダイニングテーブル風の客席に座って鑑賞できる参加型のショーなど、アイデアに富んだものばかり。

展示物はもちろんですが、日本館で印象に残ったのはスタッフの方々のサービスの良さ。親切な説明、にこやかな笑顔での対応に日本が誇るおもてなしの文化を再認識することができました。

フードコートでは、CoCo 壱番屋のカレーやモスバーガー、サガミの天ざるそば、柿安のすき焼きご膳といったおなじみの日本食を楽しむことができます。



日本館内のフードコート



店員さんは気持ちの良い接客をしてくださいました

各国の展示館それぞれ見応えがあり1日ではとても会場を回りきれませんが、充実した時間を過ごせることは間違いありません。

会期は5月1日～10月31日までの184日間。まだまだ時間はありますので、夏の旅行プランに組み込まれてはいかがでしょうか。



広場に置かれていた独楽のようなイス。ぐるぐる回りながら噴水ショーが見られ楽しいです。



スロウキア館前の気の利いた休憩所。休憩所はたくさんありますので、歩き疲れたら一休みを!